

令和7年度

# 市民農業大学講座

## 受講生募集要領

市民農業大学講座は、栽培管理の基礎について実習を中心として学んでいただき、修了後に『農と緑の環境リーダー(※)』として農家での農作業のお手伝い(援農)や公園、緑地等でのボランティア活動をしていただくなど、地域で活躍していただくための人材を育成する講座です。

### ■ 講座内容 (28期生)

野菜、果樹、花き、樹木といった幅広い分野の栽培管理を学びます。

	期間	令和7年4月～令和9年3月(2年間)
1年次	講座曜日	火曜日・木曜日
	講座時間	13時30分～16時
	会場	横浜市環境活動支援センター(一部農家ほ場等での実習あり)
	講座回数	35回 ※講座内容・日程は次頁別表のとおり
	受講料	25,000円(傷害保険料含む) ※交通費は自己負担となります。
2年次	講座日	受入れ農家と調整
	講座時間	原則として9時～16時
	会場	受入れ農家の畑及び施設
	講座回数	10回 ※講座内容・日程は各受入れ農家との調整になります。
	受講料	12,000円(予定・傷害保険料含む) ※交通費は自己負担となります。
	その他	5月下旬以降に、講座日程以外で実習作業を行う「実習ボランティア」を実施します。(任意参加)

### ■ 定員

30人(応募者多数の場合は選考)

### ■ 応募資格

1. 横浜市内在住の67歳以下(令和7年4月1日現在)の方
2. 本講座修了後に援農・緑化ボランティア活動をする意思のある方
3. 講師の指示に従い年間を通じグループ制での農作業実習を受講できる方
4. 講座内容やカリキュラムの理解に努め、前向きに受講する意思のある方

※ 講座はグループ制です。グループ編成に関する御要望はお受けできませんので御了承ください。

※ 以前に市民農業大学講座を受講された方(以前中退された場合も含む)は、応募できません。

※ 受講生としてふさわしくない行為が認められた場合、講師やその他受講生の意欲を削ぐなどその他迷惑行為、法令または公序良俗に反する行為があった場合は年次に関わらず受講資格を喪失する場合があります。

■ 内容

(1) 1年次講座予定表

\*講座時間：13時30分～16時

\*会場：実習展示場

回	月日	曜日	科目	内容
	R7 4/1	(火)	開講式 [13時30分から環境活動支援センター実習展示場]	
1	4/3	(木)	総合1	土壌と肥料・道具の使い方
2	4/8	(火)	野菜1	果菜類の作付け準備
3	4/10	(木)	花き1	種まき【春苗】
4	4/15	(火)	野菜2	果菜類の作付け
5	4/17	(木)	総合2	植物の分類と見分け方
6	4/22	(火)	野菜3	ライ麦（果菜畑用敷きわら）の刈り取り
7	4/24	(木)	花き2	ポット上げ【春苗】
8	5/8	(木)	野菜4	根深ネギの定植
9	5/13	(火)	果樹1	ブドウの年間管理と房作り
10	5/15	(木)	花き3	花苗の温室栽培【春夏】（農家実習）
11	5/20	(火)	野菜5	ナスの支柱立てと誘引
12	5/22	(木)	花き4	花壇の準備【春夏】
13	5/29	(木)	花き5	花壇づくり【春夏】
14	6/3	(火)	果樹2	ブドウの摘粒と夏季管理
15	6/5	(木)	植木1・花き6	挿し木
16	6/10	(火)	果樹3	ブドウの袋掛け
17	6/17	(火)	総合3	鎌の研ぎ方・肥料の計算方法
18	7/1	(火)	野菜6	ニンジンの種まき
19	7/10	(木)	植木2・果樹4	樹木の剪定
20	8/19	(火)	総合4・果樹5	病害虫対策・ブドウの糖度測定
21	8/21	(木)	野菜7・花き7	種まき【秋苗】
22	9/2	(火)	野菜8	ダイコンの種まき
23	9/11	(木)	花き8	花苗のポット上げ【秋苗】
24	9/16	(火)	野菜9	ダイコンの間引きと土寄せ・カブの種まき
25	10/7	(火)	野菜10	ホウレンソウの種まき
26	10/9	(木)	植木3	生垣の刈り込み
27	10/16	(木)	花き9	花壇の準備【秋冬】
28	10/21	(火)	花き10	花苗の温室栽培【秋冬】（農家実習）
29	10/23	(木)	花き11	花壇づくり【秋冬】
30	11/18	(火)	野菜11	ライ麦の種まき
31	11/25	(火)	野菜12	ホウレンソウの収穫と結束
32	12/2	(火)	果樹6	落葉果樹の整枝剪定（農家実習）
33	12/4	(木)	総合5	腐葉土づくり
34	12/9	(火)	果樹7	ブドウの整枝剪定（農家講師）
35	12/11	(木)	花き12	季節の寄せ植えづくり
	R8 2/12	(木)	2年次進級説明会	

※ 天候や作物の生育状況により、日程や作業内容が変更になる場合がありますので御了承ください。

## (2) 2年次講座内容

横浜市内の生産農家で農作業実習（全10回）を行います。1年次の基礎実習を踏まえて、実際に農家での農作業を経験し、横浜の農家や農業について理解を深めていただくとともに、修了後の援農への足掛かりとしていただきます。

なお、実習先は野菜農家、果樹農家もしくは花き農家となります。各受入れ農家に対し原則として1～2人で実習していただきます。

### 【注意点】

2年次農家実習は、それぞれの受入れ農家と調整の上、講座日時を決定します。受入れ先の農家によって実習の時期や期間が異なるため、実習の曜日が固定されない、一定のペースではない（繁忙期に集中的に行う等）という場合もありますので、仕事をお持ちの方など時間に制約がある方は、2年次も継続して受講が可能か十分に御検討いただいた上でお申し込みください。

## (3) 進級及び講座修了の条件

本講座は、1年次全35回の講座を通じて様々な作物の栽培管理を学習し、幅広い農業や園芸の基礎を身に付けていただくプログラムとなっています。このため、1年次講座のうち、個人の事情により7割以上（原則全体の7割以上かつ各科目7割以上）の受講ができなかった場合には、受講を継続することができませんので御了承ください。

2年次についても、全10回の農家実習を通じて実践的な農業技術を学ぶプログラムとなっているため、個人の事情により7割以上の受講ができなかった場合には、本講座を修了することはできません。

修了生には、市民農業大学講座の修了証及び「農と緑の環境リーダー認定書」を交付します。講座修了後は、地域で農や緑の活動に積極的な参加をお願いします。

注：この事業は、令和7年度予算が横浜市議会において議決されることを前提としていますので御了承ください。

### 【講座の様子】





## ■ 応募方法

Eメールに下記必要事項を御記入のうえ、お申し込みください。

### 1 募集期間

令和7年2月3日(月)～3月3日(月)【必着】

### 2 必要事項

- ① 氏名 (フリガナも必ず御記入ください)
- ② 住所
- ③ 生年月日 (西暦で御記入ください)
- ④ 電話番号 (日中連絡が取れる連絡先)
- ⑤ 応募の動機 (援農に対する思いを教えてください) (100字以上)

※講座の申込にあたり、いただいた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、講座に係る目的以外には利用しません。

### 3 申込先

mk-kkscagri@city.yokohama.lg.jp 横浜市環境活動支援センター

\* 件名に『市民農業大学講座申込み』と必ず明記してください。

\* お申込み受理後、受理した旨のメールを上記アドレスから返信します。3月6日(木)までに返信がない場合には下記問合せ先までお問合せください。

- 【注意】**
- ・ 一人1通のみ有効です。
  - ・ 本人以外の申込みは無効となります。
  - ・ 記載事項に不備がある場合は、受け付けられないことがあります。

## ■ 受講者の決定

定員を超える申込みがあった場合は、記載された「応募の動機」を選考の対象とします。  
受講の可否は、3月中旬頃に応募者全員に文書で通知します。

## ■ 受講料の納入時期及び方法 (予定)

受講が決定した方には、開講式当日に振込用紙 (納入通知書) をお渡しいたしますので、納入期限までに速やかに納入してください。なお、納入後の受講料の払い戻しはいたしません。

## ■ 問合せ先

横浜市環境活動支援センター

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町 213

TEL : 711-0635 FAX : 721-6356

Eメール : mk-kkscagri@city.yokohama.lg.jp



横浜市 農業大学

検索

## ■ 交通機関 (講座受講の際には、公共交通機関を御利用ください。)

◎JR 保土ヶ谷駅東口 (バスターミナル) または 相鉄線西横浜駅 (水道道バス停) から

- ・ 戸塚駅行き、東戸塚行き、芹が谷行き → 「児童遊園地入口」下車徒歩5分
- ・ 平和台行き → 「児童遊園地前」下車徒歩5分

◎JR 戸塚駅東口 または JR 東戸塚駅東口から

- ・ 横浜駅西口行き、水道道行き、保土ヶ谷駅東口行き → 「児童遊園地入口」下車徒歩5分

◎JR 関内駅北口 または 地下鉄蒔田駅前 または 京急井土ヶ谷駅から

- ・ 平和台行き → 「児童遊園地前」下車徒歩5分

横浜農場